



# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-041571

(43)Date of publication of application : 12.02.1999

(51)Int.Cl.

H04N 7/08

H04N 7/081

G09C 5/00

H04N 1/387

H04N 5/91

(21)Application number : 09-194414

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 18.07.1997

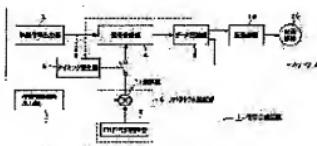
(72)Inventor : EZAKI TADASHI

**(54) SIGNAL COMPOSING DEVICE, SIGNAL COMPOSING METHOD, VIDEO SIGNAL RECORDER, VIDEO SIGNAL RECORDING METHOD AND RECORDING MEDIUM**

**(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a signal composing device capable of suppressing degradation of picture quality without deleting additional information by compression processing the data or the like by superimposing an additional information signal on the signal of a selected frame.

**SOLUTION:** The additional information signal supplied from an additional information signal output part 3 to a spectrum spreading part 5 is multiplied with a noise signal, which is generated by a pseudo random noise(PN) code stream generator 6, by a multiplier 7 and spectrum is spread. A timing generator 8 transmits the gate signal of the frame to superimpose the additional information signal among the plural frames of a video signal outputted from a video signal output part 2. Based on this gate signal, the spectrum spread additional information signal is supplied to a signal composing device 4. The signal composing device 4 generates a video information signal by embedding the supplied additional information signal into the video signal supplied from the video signal output part 2 at prescribed timing determined by a timing generator 8.



**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 30.04.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.04.2007

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-41571

(43) 公開日 平成11年(1999)2月12日

(51) Int.Cl.<sup>s</sup>  
H 0 4 N 7/08  
7/081  
G 0 9 C 5/00  
H 0 4 N 1/387  
5/91

检测方法

F I	
H 0 4 N	7/08
G 0 9 C	5/00
H 0 4 N	1/387
	5/01

2

P

審査請求、未請求、請求項の数30 Q.L. (全 8 頁)

(21)出席番号

特福平9-194414

(71) 出晒人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号  
江▲橋▼正

(22) 出願日 平成9年(1997)7月18日

(72) 空明抄 37

卷之三

東京都墨田区北品川 6丁目 1番33号

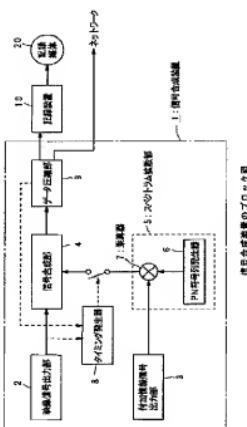
(74) 代理人 弁理士 小池 晃 (外2名)

(54) 【発明の名称】 優品合成装置、優品合成方法、映像信号記録装置、映像信号記録方法並びに記録媒体

(57) [要約]

【課題】 映像のデジタルデータに付加情報を重複する場合において、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても付加情報が削除されず、また、画質の劣化を抑えることができる信号合成装置及び信号合成方法を提供し、また、この信号合成装置及び信号合成方法で合成された信号を記録する映像信号記録装置及び映像信号記録方法を提供し、さらには、上記信号合成装置及び信号合成方法で合成された信号を記録した記録媒体を提供する。

【解決手段】 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畠する信号合成部4を備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重疊する信号合成手段を備えることを特徴とする信号合成装置。

【請求項2】 上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含むことを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項3】 上記付加情報信号は、上記映像の著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項4】 上記信号はMPEGエンコーダで圧縮される信号であって、  
上記信号合成手段は、MPEGエンコーダで信号を圧縮する際にビクチャードに充てられるフレームの信号に上記付加情報信号を重疊することを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項5】 上記信号合成手段は、上記付加情報信号を不定期間隔で出現するフレームの信号に重疊することを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項6】 上記付加情報信号は、付加情報信号を重疊した他のフレームを検出するための情報信号を含むことを特徴とする請求項5記載の信号合成装置。

【請求項7】 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重疊することを特徴とする信号合成方法。

【請求項8】 上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含むことを特徴とする請求項7記載の信号合成方法。

【請求項9】 上記付加情報信号は、上記映像の著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項7記載の信号合成方法。

【請求項10】 上記信号はMPEGエンコーダで圧縮される信号であって、上記付加情報信号は、MPEGエンコーダで信号を圧縮する際にビクチャードに充てられるフレームに重疊されることを特徴とする請求項7記載の信号合成方法。

【請求項11】 上記付加情報信号は、不定期間隔で出現するフレームに重疊されることを特徴とする請求項7記載の信号合成方法。

【請求項12】 上記付加情報信号は、付加情報信号を重疊した他のフレームを検出するための情報信号を含むことを特徴とする請求項11記載の信号合成方法。

【請求項13】 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重疊されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号を記録する記録手段と、  
上記記録手段を制御する制御手段と、  
上記映像情報信号から付加情報信号を抽出し、この付加情報信号を上記制御部に供給する付加情報信号抽出手段

とを備え、

上記制御手段は、上記付加情報信号抽出手段から供給される付加情報信号に基づいて上記記録手段を制御することを特徴とする映像信号記録装置。

【請求項14】 上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含み、

上記制御手段は、上記不正コピーを防止するための情報信号に基づいて、上記記録手段による上記映像情報信号の記録回数を制限し、または記録を禁止する制御を行うことを特徴とする請求項13記載の映像信号記録装置。

【請求項15】 上記付加情報信号は、著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項13記載の記録装置。

【請求項16】 上記映像情報信号はMPEGエンコーダで圧縮された信号であって、

上記付加情報信号は、MPEGエンコーダで信号を圧縮した際にビクチャードに充てられたフレームに重疊されていることを特徴とする請求項13記載の映像信号記録装置。

20 【請求項17】 上記付加情報信号は、不定期間隔で出現するフレームの信号に重疊されていることを特徴とする請求項13記載の映像信号記録装置。

【請求項18】 上記付加情報信号は、付加情報信号を重疊した他のフレームを検出するための情報信号を含み、

上記付加情報信号抽出手段は、上記付加情報信号を重疊した他のフレームを検出するための情報に基づいて、付加情報信号が重疊されたフレームの位置を検出することを特徴とする請求項17記載の映像信号記録装置。

30 【請求項19】 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重疊されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号から付加情報信号を抽出して、この付加情報信号に基づいて、上記映像情報信号の記録を制御することを特徴とする映像信号記録方法。

【請求項20】 上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含み、

この不正コピーを防止するための情報信号に基づいて、上記映像情報信号の記録回数を制限し、または記録を禁止する制御を行うことを特徴とする請求項19記載の映像信号記録方法。

40 【請求項21】 上記付加情報信号は、著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項19記載の映像信号記録方法。

【請求項22】 上記映像情報信号はMPEGエンコーダで圧縮された信号であって、

上記付加情報信号は、MPEGエンコーダで信号を圧縮した際にビクチャードに充てられたフレームに重疊されていることを特徴とする請求項19記載の映像信号記録方法。

**【請求項23】** 上記付加情報信号は、不定期間隔で出現するフレームの信号に重畳されていることを特徴とする請求項19記載の映像信号記録方法。

**【請求項24】** 上記付加情報信号は、付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報信号を含み、上記付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報に基づいて、付加情報信号が重畳されたフレームを検出することを特徴とする請求項23記載の映像信号記録方法。

**【請求項25】** 映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号を重畳してなる映像情報信号が記録されていることを特徴とする記録媒体。

**【請求項26】** 上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含むことを特徴とする請求項25記載の記録媒体。

**【請求項27】** 上記付加情報信号は、上記映像の著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項25記載の記録媒体。

**【請求項28】** 上記映像情報信号はMPEGエンコーダで圧縮された信号であって、

上記付加情報信号は、MPEGエンコーダで信号を圧縮した際にIピクチャーに充てられたフレームの信号に重畳されていることを特徴とする請求項25記載の記録媒体。

**【請求項29】** 上記付加情報信号は、不定期間隔で出現するフレームの信号に重畳されていることを特徴とする請求項25記載の記録媒体。

**【請求項30】** 上記付加情報信号は、付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報信号を含むことを特徴とする請求項29記載の記録媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【00001】

【発明の属する技術分野】本発明は、映像の信号に付加情報信号を重畳する信号合成装置及び信号合成方法、映像の信号に付加情報信号が重畳されてなる映像情報信号を記録する映像信号記録装置及び映像信号記録方法、映像の信号に付加情報信号が重畳されてなる映像情報信号が記録された記録媒体に関する。

##### 【00002】

【従来の技術】近年、インターネットの普及やオーディオビジュアル機器のデジタル化にともない、デジタルデータの不正コピーが問題となってきた。

【00003】こうしたデジタルデータの不正コピーを防止する方法として、デジタルデータの中に不正コピーを防止するためのデータ等の付加情報を埋め込む方法が検討されている。

【00004】例えば、画像データの不正コピーを防止する方法としては、画像データに、目に見える限界レベル

以下程度のノイズレベルにスペクトラム拡散した付加情報を重畳する技術が提案されている。

##### 【00005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、付加情報をノイズとして画像データに重畳する場合、ノイズレベルが低いと、データの圧縮処理やノイズリダクション処理の過程で、付加情報を削除されてしまう可能性がある。

【00006】データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても付加情報を削除されないように、ノイズレベルを大きくして画像データに重畳すると、画質の劣化を招く可能性がある。

【00007】そこで、本発明は、映像のデジタルデータに付加情報を重畳する場合において、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても付加情報を削除されず、また、画質の劣化を抑えることができる信号合成装置及び信号合成方法で合成された信号を記録する映像信号記録装置及び映像信号記録方法を提供し、さらには、

上記信号合成装置及び信号合成方法で合成された信号を記録した記録媒体を提供することを目的とする。

##### 【00008】

【課題を解決するための手段】本発明に係る信号合成装置は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畳する信号合成手段を備えている。

【00009】この信号合成装置は、信号合成手段が、映像を構成する複数のフレームのうち選択されたフレームの信号にのみ付加情報信号を重畳する。したがって、信号合成手段が、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても削除されない程度にノイズレベルの大きい付加情報信号を映像の信号に重畳しても、画質の劣化が抑えられる。

【00010】また、本発明に係る信号合成方法は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畳するようにしている。

【00011】したがって、この信号合成方法によれば、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても削除されない程度にノイズレベルの大きい付加情報信号を映像の信号に重畳しても、画質の劣化が抑えられる。

【00012】また、本発明に係る映像信号記録装置は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重畳されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号を記録する記録手段と、この記録手段を制御する制御手段と、上記映像情報信号から付加情報信号を抽出し、この付加情報信号を制御部に供給する付加情報信号抽出手段とを備えている。

【00013】そして、この映像信号記録装置は、制御手

段が、付加情報信号抽出手段から供給される付加情報信号に基づいて記録手段を制御するようになされている。

【0014】この映像信号記録装置は、付加情報信号抽出手段により、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重複されてなる映像情報信号から付加情報信号が抽出される。

【0015】付加情報信号抽出手段により抽出された付加情報は、制御手段に供給される。制御手段は、付加情報信号抽出手段から供給された付加情報信号に基づいて、記録手段を制御する。

【0016】そして、映像情報信号は、制御手段の制御に従って、記録部により記録される。

【0017】また、本発明に係る映像信号記録方法は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重複されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号から付加情報信号を抽出して、この付加情報信号に基づいて、上記映像情報信号の記録を制御するようになっている。

【0018】したがって、この映像信号記録方法によれば、映像の信号に重複された付加情報に基づいて、映像情報信号の記録の制御を行うことができる。

【0019】また、本発明に係る記録媒体は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重複してなる映像情報信号が記録されている。

【0020】この記録媒体に記録された映像情報信号は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重複されてなるので、再生された際の画像の劣化が目立たない。

【0021】  
【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面を参照しながら説明する。

【0022】なお、本明細書においては、映像を構成する信号を映像信号といい、この映像信号に付加される他の情報を示す信号を付加情報信号という。また、映像信号に付加情報信号が重複されてなる信号を映像情報信号という。

【0023】本発明に係る信号合成装置1は、複数のフレームからなる映像信号の中の選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重複する信号合成装置であり、例えば図1に示すように、映像信号を出力する映像信号出力部2と、付加情報信号を出力する付加情報信号出力部3とを備えている。

【0024】映像信号出力部2は、例えば4:2:2のデジタル形式で映像信号を出力する。そして、映像信号出力部2から出力された映像信号は、信号合成部4に供給される。

【0025】付加情報信号出力部3は、付加情報信号を出力する。この付加情報信号出力部3から出力される付加情報信号としては、例えば著作権管理情報があげられ

る。ここで、著作権管理情報とは、著作権者名、作品名、作品コード、作製工場や作製機器の番号等の著作権の管理に必要な情報をいう。

【0026】また、付加情報信号として、不正コピーを防止するためのCGMS(Copy Generation Management System)情報を用いるようにしてもよい。このCGMS情報は、2ビットのデータからなり、図2に示すように、コピーフリー、1世代のみコピー可、コピーフリーの3種類の情報を指定することができる。

10 【0027】そして、付加情報信号をスベクトラム拡散部5に供給する。

【0028】スベクトラム拡散部5は、PN(疑似ランダムノイズ)符号列発生器6と乗算器7とを備えている。そして、スベクトラム拡散部5に供給された付加情報信号は、PN符号列発生器6により生成されたノイズ信号と乗算器7にて乗算され、直接拡散方式によってスペクトラム拡散される。

【0029】スベクトラム拡散部5にてスベクトラム拡散された付加情報信号は、上記信号合成功部4に供給される。このとき、スベクトラム拡散された付加情報信号が信号合成功部4に供給されるタイミングは、タイミング発生器8により決定される。

【0030】タイミング発生器8は、映像信号出力部2から出力される映像信号のフレームのタイミングを検出し、複数のフレームのつながりの中で付加情報信号を重複するフレームのゲート信号を発信する。そして、このゲート信号に基づいて、付加情報信号が信号合成功部4に供給される。

【0031】信号合成功部4は、映像信号出力部2から供給された映像信号に、タイミング発生器8により決定された所定のタイミングで供給されるスベクトラム拡散された付加情報信号を埋め込み、映像情報信号を生成する。

【0032】信号合成功部4にて生成された映像情報信号は、データ圧縮部9に供給され、圧縮される。データ圧縮部9としては、例えばMPEG(Moving Picture ExpertsGroup)エンコーダ等が用いられる。

【0033】データ圧縮部9により圧縮された映像情報信号は、例えば記録装置10に供給され、この記録装置10により、例えばDVDと称される光ディスク等の記録媒体20に記録される。

【0034】この記録媒体20は、以上のような信号合成装置1により合成された映像情報信号、すなわち、複数のフレームからなる映像信号の中の選択された1以上のフレームの信号に付加情報信号が重複されてなる信号が記録されている。

【0035】また、データ圧縮部9により圧縮された映像情報信号は、例えばインターネット等のネットワークに伝送されるようにもよい。

【0036】以上のように構成される信号合成装置1

は、図3に示すように、映像を構成する複数のフレームの中から選択した1以上のフレームに、付加情報を重畠するようにしている。したがって、この信号合成分成装置1により生成された映像情報信号は、付加情報信号のノイズレベルをデータ圧縮処理やノイズリダクション処理を施しても取り除かれない程度に大きくしても、再生時の画質の劣化が目につかない程度に抑えられる。

【0037】すなわち、この信号合成分成装置1により生成される映像情報信号は、付加情報が重畠されて画質が劣化したフレームが、映像を構成する全てのフレームではなく、その中の選択された一部であるので、再生時の画質の劣化が目につかない程度に抑えられる。

【0038】さらに、付加情報信号を重畠するフレームの中でも、そのフレームを構成する映像信号のうち知覚上重要な部分（冗長部分）の信号を選択して、この信号に付加情報信号を重畠するようにすれば、さらに画質の劣化を抑えることができる。

【0039】また、この信号合成分成装置1により生成された映像情報信号は、映像を構成する複数のフレームの中の一部のフレームの信号に付加情報が重畠されているので、付加情報が重畠された信号の判別が困難で、この付加情報を削除しようとするいわゆるアタックに対しても安全性が増す。

【0040】ところで、付加情報信号が重畠されるフレームとしては、例えば図4に示すように、MPEGエンコーダで信号を圧縮する際にIビクチャに充てられるフレームが選択されることが望ましい。

【0041】MPEGエンコーダで信号を圧縮する際は、映像を構成する一連のフレームをI、B、Pの3種類のフレームに分類し、この3種類のフレームからなるGOP (Group of Pictures) を単位として処理を行っている。そして、画像の相関性から、変化の比較的大きい例えばシーンチェンジの部分等のフレームには、Iビクチャーが充てられることが多い。したがって、このIビクチャーに充てられるフレームを選択して、このフレームの信号に付加情報信号を重畠することにより、データ圧縮の際に付加情報信号が除去される可能性が減る。

【0042】この場合、タイミング発生器8は、例えば図示しない動き検出回路や相間検出回路、または、MPEGエンコーダの動き検出回路を用いて、変化の激しいフレームを特定し、そのフレーム、すなわちIビクチャーに充てられるフレームのゲート信号を発信するようになる。このタイミング発生器8から発信されるゲート信号に基づいて、スペクトラム拡散部5から信号合成分成装置4に付加情報信号が供給され、信号合成分成装置4にて映像信号と付加情報信号とが合成されることにより、MPEGエンコーダで信号を圧縮する際にIビクチャーに充てられるフレームの信号に、付加情報信号を重畠することができる。

【0043】また、付加情報信号が重畠されるフレーム

50

としては、図5に示すように、不定期間隔で出現するフレームを選択するようにしてもよい。

【0044】映像情報信号は、NTSC (National Television System Committee) のようにフレーム周波数が規定されているとは限らず、特にコンピュータ等で扱われる場合は、フレームレート、ラインレートともに変換される可能性がある。したがって、付加情報信号が重畠されるフレームの間隔を一定にすると、この画像形式変換の過程において付加情報信号が全て取り除かれてしまう可能性がある。

【0045】そこで、付加情報信号を重畠するフレームとして、不定期間隔で出現するフレームを選択することにより、画像形式が変換されたときにいくつかの付加情報信号が取り除かれても、必ずいちらくの付加情報信号が残るようになることができる。

【0046】この場合、タイミング発生器8は、一連のフレームの中から付加情報信号を重畠するフレームをランダムに選択し、このフレームのゲート信号を発信するようになる。このタイミング発生器8から発信されるゲート信号に基づいて、スペクトラム拡散部5から信号合成分成装置4に付加情報信号が供給され、信号合成分成装置4にて映像信号と付加情報信号とが合成されることにより、不定期間隔で出現するフレームの信号に付加情報信号を重畠することができる。

【0047】なお、付加情報信号が重畠されるフレームとして、不定期間隔で出現するフレームを選択した場合は、付加情報信号のデコードを容易に行うために、次の付加情報信号を重畠したフレームを検出するための情報信号を付加情報信号に含ませることが望ましい。

【0048】すなわち、エンコードされたデータをデコードするには、デコードの信頼性を向上させるために、同じデータが何度か確認されたときにはじめてそのデータを確定する手法を探ることが多いが、このような手法で付加情報信号のデコードを行う場合でも、次の付加情報信号を重畠したフレームを検出するための情報信号を付加情報信号に含めることにより、デコードを容易に行うことができる。

【0049】なお、以上は、信号合成分成装置4に供給される映像信号に、スペクトラム拡散した付加情報信号を重畠して映像情報信号を生成する例について説明したが、本発明の信号合成分成装置は、この例に限定されるものではなく、例えば映像信号の波形や画素等の標本値に処理を施して付加情報を埋め込み、映像情報信号等を生成するようしてもよい。

【0050】また、以上は、スペクトラム拡散部5において付加情報信号を直接拡散方式によりスペクトラム拡散する例について説明したが、本発明の信号合成分成装置は、この例に限定されるものではなく、例えば周波数ホッピング方式、時間ホッピング方式等により付加情報信号をスペクトラム拡散するようにしてもよい。

【0051】次に、上述した信号合成装置1により生成された映像情報信号を記録する信号記録装置について説明する。

【0052】この信号記録装置1は、映像情報信号が記録されたDVD等の記録媒体20を再生する再生装置21等より供給される映像情報信号、すなわち、複数のフレームからなる映像信号の中の選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号が合成された映像情報信号を、他の記録媒体に記録する信号記録装置であり、図6に示すように、映像情報信号入力部12から、再生装置21等より供給されるアナログ信号が入力される。

【0053】映像情報信号入力部12から入力されたアナログ信号は、A/D変換部13によりデジタル信号に変換される。そして、A/D変換部13でデジタル信号に変換された映像情報信号が、デコード部14に供給される。

【0054】デコード部14は、PN符号列発生器15と乗算器16とを備えている。そして、デコード部14に供給された映像情報信号は、PN符号列発生器15により生成されたノイズ信号と乗算器16にて乗算され、スペクトラム拡散された付加情報信号がデコードされる。

【0055】このとき、スペクトラム拡散された付加情報信号とPN符号との位相が合っていないと正しいデータが復号できないので、同期形成回路17によりスペクトラム拡散された付加情報信号とPN符号との位相を合わせるようにしている。

【0056】同期形成回路17は、デコード部14の乗算器16による乗算の結果を累積して相間を観察し、特定のパターンが出現することを確認してタイミングを合わせるようにしている。

【0057】ところで、この信号記録装置1に供給される映像情報信号は、映像を構成するフレームのうちの選択されたフレームの信号、例えばMPEGエンコーダで圧縮された際にIピクチャに選ばれたフレームの信号やランダムに選択されたフレームの信号にのみ付加情報信号が重畳されているので、付加情報信号が重畳されたフレームの位置の検出が困難となる。

【0058】そこで、デコード部14は、付加情報信号が重畳された最初のフレームが見つかるまでは、全てのフレームに対してデコード操作を繰り返し行うようにしている。そして、このデコード部14は、付加情報信号が重畳された最初のフレームの付加情報信号をデコードした後は、例えばその付加情報信号に含まれている、付加情報信号が重畳された他のフレームの位置情報に基づいて、そのフレームが来るまでは待機して、そのフレームが来たときにデコード操作を行うようになっている。

【0059】デコード部14によりデコードされた付加情報は、制御部18に供給される。この制御部18は、供給された付加情報を数フレーム分蓄積し、同じ情報が

何度も供給されることを確認して情報を確定し、この情報に基づいて記録部19の記録動作を制御する。

【0060】記録部19には、映像情報信号入力部12から入力され、A/D変換部13にてデジタル信号に変換された映像情報信号が供給される。そして、記録部19は、この映像情報信号を記録媒体に記録する。

【0061】記録部19の記録動作は、制御部18により制御されている。例えば制御部18に、付加情報として上述したCGMS情報が供給されたときは、記録部19は制御部18により録画を禁止、すなわち映像情報信号を記録しないように制御され、または映像情報信号を記録した後に、CGMSビットを書き換える等の操作を行なうように制御される。

【0062】以上のように構成される信号記録装置11は、制御部18が、映像信号に重畳された付加情報に基づいて、記録部19の記録動作を制御するようにしているので、例えば入力される映像信号にCGMS情報が重畳されれば、不正コピーの防止等を図ることができます。

【0063】また、この信号記録装置11は、上述のように、映像信号に重畳された付加情報信号をデコードする際に、付加情報信号が重畳された最初のフレームが見つかるまでは、デコード部14が全てのフレームに対してデコード操作を繰り返し行い、付加情報信号が重畳された最初のフレームの付加情報信号をデコードした後は、例えばその付加情報信号に含まれている、付加情報信号が重畳された他のフレームの位置情報に基づいて、そのフレームが来るまでは待機して、そのフレームが来たときにデコード操作を行なうようにしている。

【0064】したがって、この信号記録装置11は、複数のフレームからなる映像信号の中の選択されたフレームの信号に重畳された付加情報信号を効率的にデコードすることができる。

【0065】なお、以上は、付加情報信号がスペクトラム拡散されて映像信号に重畳された映像情報信号が入力される信号記録装置11について説明したが、本発明に係る信号記録装置に入力される映像情報信号としては、例えば映像信号の波形や画素等の標本値に処理を施すことにより付加情報が埋め込まれた映像情報信号等であつてもよい。この場合、デコード部14は、映像信号の波形や画素等の標本値を検出して付加情報を読み出すようにすればよい。

【0066】また、以上は、デコード部14において、直接拡散方式によりスペクトラム拡散された付加情報信号を逆拡散する例について説明したが、本発明の信号記録装置は、この例に限定されるものではなく、例えば周波数ホッピング方式、時間ホッピング方式等によりスペクトラム拡散された付加情報信号を逆拡散して付加情報信号を読み出すようにしてもよい。

【0067】

【発明の効果】本発明に係る信号合成装置は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畠する信号合成手段を備えているので、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても付加情報信号が削除されず、また、画質の劣化の少ない映像情報信号を生成することができる。

【0068】また、本発明に係る信号合成方法は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畠するようしているので、付加情報信号のノイズレベルをデータの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても削除されない程度に大きくしても、画質の劣化が抑えられる。

【0069】また、本発明に係る信号記録装置では、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号が重畠された映像情報信号が入力され、この映像情報信号を記録する記録手段と、映像情報信号から付加情報信号を抽出する付加情報信号抽出手段と、記録手段を削除する削除手段とを備えているので、画質の劣化の少ない映像情報信号を記録することができるとともに、付加情報に基づいて適切に記録動作を制御することができる。

【0070】また、本発明に係る信号記録方法は、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号が重畠された映像情報信号が入力され、この映像情報信号から付加情報信号を抽出し、この付加情報信号に基づいて映像情報信号の記録を\*

\*制御するようしているので、画質の劣化の少ない映像情報信号を記録することができるとともに、付加情報に基づいて適切に記録動作を制御することができる。

【0071】また、本発明に係る記録媒体には、映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畠してなる映像情報信号が記録されているので、再生された際の画質の劣化が目立たない。

#### 【図面の簡単な説明】

10 【図1】本発明に係る信号合成装置を示すブロック図である。

【図2】CGMS情報の内容を示す図である。

【図3】本発明に係る信号合成装置により合成された映像情報信号を示す概念図である。

【図4】本発明に係る信号合成装置により合成された映像情報信号の一例を示す概念図である。

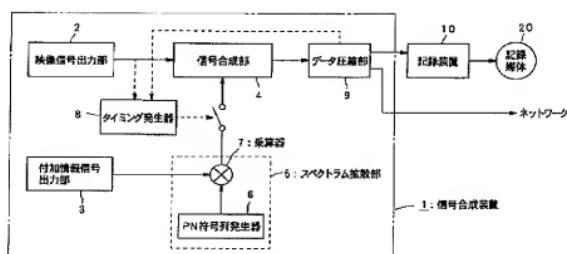
【図5】本発明に係る信号合成装置により合成された映像情報信号の他の一例を示す概念図である。

【図6】本発明に係る信号記録装置を示すブロック図である。

#### 【符号の説明】

1 信号合成装置、4 信号合成部、5 スペクトラム拡散部、6 タイミング発生器、7 データ圧縮部、1  
1 信号記録装置、14 デコード部、17 同期形成回路、18 制御部、19 記録部、20 記録媒体

【図1】



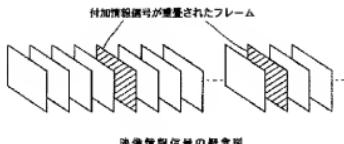
信号合成装置のブロック図

【図2】

CGMS	ステータス
0.0	コピーフリー
0.1	未定義
1.0	一世代のみコピー可
1.1	コピー不可

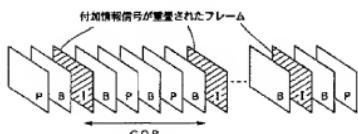
CGMS情報

【図3】



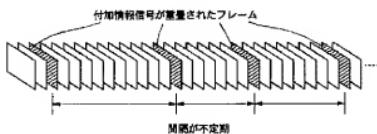
映像情報信号の概念図

【図4】



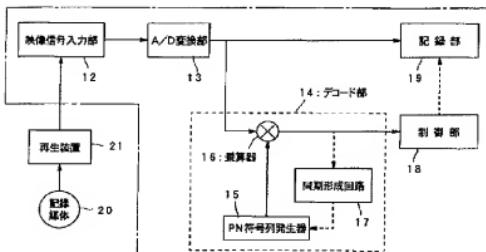
映像情報信号の概念図

【図5】



映像情報信号の概念図

【図6】



信号記録装置のブロック図

1.1: 標号記録装置

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開平11-41571  
 【公開日】平成11年2月12日(1999.2.12)

【出願番号】特願平9-194414  
 【国際特許分類第7版】

H 04 N 7/08

H 04 N 7/081

G 09 C 5/00

H 04 N 1/387

H 04 N 5/91

【F I】

H 04 N 7/08 Z

G 09 C 5/00

H 04 N 1/387

H 04 N 5/91 P

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】信号合成装置、信号合成方法、映像信号記録装置並びに映像信号記録方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像を構成する複数のフレームから選択された1以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畠する信号合成手段を備えることを特徴とする信号合成装置。

【請求項2】

上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含むことを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項3】

上記付加情報信号は、上記映像の著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項4】

上記信号はMPEGエンコーダで圧縮される信号であって、上記信号合成手段は、MPEGエンコーダで信号を圧縮する際にビクチャーに充てられるフレームの信号に上記付加情報信号を重畠することを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項5】

上記信号合成手段は、上記付加情報信号を不定期間隔で出現するフレームの信号に重畠することを特徴とする請求項1記載の信号合成装置。

【請求項6】

上記付加情報信号は、付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報信号を含むことを特徴とする請求項 5 記載の信号合成装置。

【請求項 7】

映像を構成する複数のフレームから選択された 1 以上のフレームの信号に、付加情報信号を重畳することを特徴とする信号合成方法。

【請求項 8】

映像を構成する複数のフレームから選択された 1 以上のフレームの信号に付加情報信号が重畳されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号を記録する記録手段と、上記記録手段を制御する制御手段と、上記映像情報信号から付加情報信号を抽出し、この付加情報信号を上記制御部に供給する付加情報信号抽出手段とを備え、

上記制御手段は、上記付加情報信号抽出手段から供給される付加情報信号に基づいて上記記録手段を制御することを特徴とする映像信号記録装置。

【請求項 9】

上記付加情報信号は、不正コピーを防止するための情報信号を含み、上記制御手段は、上記不正コピーを防止するための情報信号に基づいて、上記記録手段による上記映像情報信号の記録回数を制限し、または記録を禁止する制御を行うことを特徴とする請求項 8 記載の映像信号記録装置。

【請求項 10】

上記付加情報信号は、著作権についての情報信号を含むことを特徴とする請求項 8 記載の記録装置。

【請求項 11】

上記映像情報信号は M P E G エンコーダで圧縮された信号であって、上記付加情報信号は、M P E G エンコーダで信号を圧縮した際に I ピクチャーに充てられたフレームに重畳されていることを特徴とする請求項 8 記載の映像信号記録装置。

【請求項 12】

上記付加情報信号は、不定期間隔で出現するフレームの信号に重畳されていることを特徴とする請求項 8 記載の映像信号記録装置。

【請求項 13】

上記付加情報信号は、付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報信号を含み、上記付加情報信号抽出手段は、上記付加情報信号を重畳した他のフレームを検出するための情報に基づいて、付加情報信号が重畳されたフレームの位置を検出することを特徴とする請求項 1 2 記載の映像信号記録装置。

【請求項 14】

映像を構成する複数のフレームから選択された 1 以上のフレームの信号に付加情報信号が重畳されてなる映像情報信号が入力され、この映像情報信号から付加情報信号を抽出して、この付加情報信号に基づいて、上記映像情報信号の記録を削除することを特徴とする映像信号記録方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

そこで、本発明は、映像のデジタルデータに付加情報を重畳する場合において、データの圧縮処理やノイズリダクション処理を経ても付加情報が削除されず、また、画質の劣化を抑えることができる信号合成装置及び信号合成方法を提供し、また、この信号合成装置及び信号合成方法で合成された信号を記録する映像信号記録装置及び映像信号記録方法を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】

